



No. 167

平成26年5月25日発行

電話072-895-6230

名前 \_\_\_\_\_

塾報受取日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

**星の郷教室 6月の予定**

5月28日 6月度授業料引落日

(6月9日 引き落とし予備日)

5月31日(土) 暗算検定

6月2日(月) 合宿申込受付開始

6月22日(日) 珠算1～3級  
段位検定

6月28日(土) A1大会申込締切

6月29日(日) 七夕そろばん大会

**特別練習の予定と対象者**

6月7・14日 午後5時～7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 6月22日検定受験者
- 七夕大会出場者
- グランプリ大会出場者

6月21日 午後3時～7時

- 6月22日検定受験者
- 七夕大会出場者
- グランプリ大会出場者

6月28日 午後3時～5時

- 七夕大会出場者

6月28日 午後5時～7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 七夕大会出場者
- グランプリ大会出場者

5月31日(土)の特別練習はありません。

**☆6月22日検定について☆**

2・3級…星の郷教室 午前8時

1級…北大阪会議所 午前11時20分

段位…星の郷教室 午前8時

当日は午前7時に教室を開けます。自由に練習してください。1級は会場に直接行ってください。時間に余裕を持って行動してください。会議所までの行き方についての案内は教室にありますので必要な方は申し出てください。1級受験の中学生以上は生徒手帳が必要です。

**☆5月31日暗算検定について☆**

◎5月31日実施の暗算検定は、午前8時30分から行います。都合が悪い皆さんは5月29日・30日の授業中に受験できます。5月31日の通常授業は休講です。

**☆A1グランプリ大会について☆**

☆7月27日に今年度のA1グランプリ大会が開催されます。i-testの練習レベル合計が12以上の皆さんなら誰でも出場できます。申込書の配布を始めましたので出場可能なレベルに達している生徒の皆さんは積極的に参加して下さい。会場は枚方市立地域活性化支援センター(「輝きプラザきらら」内)、午

後0時開会、午後4時閉会予定です。

## 2014年度珠算強化合宿

日程 8月18日(月)～20日(水)

場所 京都府京丹後市

夕日が浦温泉 旅館海幸

費用 24840円

※6月2日の4時20分授業から、参加者の募集を開始致します。希望者は申し出て下さい。申し込み時に、費用の一部として1万円を納入していただきます。参加資格はi-testの6種目すべてが3rd stage以上練習生、または1～3級珠算能力検定試験受験経験者で、かつ日常の練習に取り組む姿勢が優良な生徒に限ります。募集定員は30名で、定員になり次第締め切りとなります。※費用には、宿泊費・往復バス代・食事7食・保険料が含まれます。

## 中学生以上の皆さんへ

火曜日の午後7時20分クラスを6月3日から6月24日の間、設置します。このクラスは、中学生以上のみ出席できるもので、そろばんの練習に充てるもよし、学校のテスト勉強や宿題に充てるもよし、という時間です。開始しますので、活用してください。問題意識を持って出席することで、充実した時間になります。

※そろばんの練習に充てる場合は、そろばんの申し込みコースの時間にカウントされますので注意して下さい。

## 出席時間20時間以上の生徒

(5月20日までの1ヶ月)

和泉初音58 岩瀬菜々香46 山内美空43 奥田南海42 金本愛夢38 大土井楓賀36 河野美紅36 水越友香36 岡田亜瑠35 湊結子35 大土井穂賀34 齊藤小春34 和泉琴音30 吉田彩良30

金本大夢29 大野虹27 神山周27

佃花音27 藤江茉奈27 奥田あさひ26

見山真菜26 見山紀子26 山内優歩

26 住吉海飛25 古橋晴香25 古川治

親24 盛井結子24 西井颯一郎23 古

川愛佳23 大内峻聖22 絹本奈緒22

熊田杏凜22 木村理仁22 熊田星麗22

兼松咲菜22 田中穂夏22 広川朔彌

22 山内星徳22 大内悠聖21 井上寛

大21 金本三夢21 竹下綾音21 西井

萌21 平生絵理21 藤江健太21 文沢

駿介21 小野澤遼20 甚野ひな20 竹

下椋香20 分林椿20 平生道照20 平

生義智20 森本倫才20 森田航平20

山根未来20

## 猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

和泉琴音127 佐藤僚祐116 藤江健太

103 藤江茉奈100 分林椿84 見山紀

子66 森亮友58 熊田杏凜57 分林央

華55 奥田花51 林和花45 不破健太

朗40 福原健太39 上井茅衣37 坂奈

菜帆36 中條航希34 有田ころろ27

倉持杏27 北尾陽太郎25 明浦光里25

山田創大24 辻翔太22 西村美希21

山口実央20

## フラッシュ暗算合格者

(5月20日までの1ヶ月間)

**六段** 湊結子

**三段** 河野美紅 田中友子 古橋晴香

**初段** 岡田洸

**1級** 平生道照 福井夏歩 三田村航季

**2級** 甚野ひな

**3級** 平生義智

**4級** 平生義智 田中瞳夏 田丸彩月

山根未来 吉田彩良

**5級** 田中瞳夏 吉田彩良 井上楽耀

有田蒼空 平生絵理 広川朔彌  
山田創大

**6級** 田中瞳夏 吉田彩良 平生絵理  
山田創大 森萌歌

**7級** 平生絵理 酒井菜摘 三門楓太  
西村優星 藤岡栞 見山真菜

**8級** 平生絵理 三門楓太 西村優星  
藤岡栞 田中広美

**9級** 西村優星 藤岡栞 田中広美  
徳永頼樹 中村結菜

**10級** 西村優星 藤岡栞 徳永頼樹  
中村結菜 岡本希美

-----  
☆ 2か月前の塾報で、岡田秀樹さん  
（当教室在籍の最高年齢者）の特別寄  
稿を塾報に掲載致しました。

今月号と来月号では、岡田さんに次  
ぐ年齢の天麻さんに寄せてもらいま  
した文章を掲載致します。星の郷教室  
に通うようになる経緯や今後の目標な  
どが詳細に述べられています。生徒の皆  
さんが持っていたちょっとした疑問も  
これで解消するのでは・・・と思いま  
す。長文になりますので2か月にわた  
っての掲載です。

文中、少々過分な誉め言葉がいくつ  
か出てきます。自塾の塾報で紹介す  
るのはとても恥ずかしいもので、おしり  
の部分が破れたズボンを、破れている  
と知りながら身につけているような気  
分です。

みなさん、こんにちは。天麻益美(てん  
ますみ)と申します。2月から星の郷総  
合教室でお世話になり約4ヵ月、みな  
さんは、時々来ては金本先生の斜め向  
かに立ち指導をのぞいているけど「誰  
だろう？」と思っていると思うので、自己  
紹介をさせていただきます。

岩手県久慈市出身、現在44歳です。近  
い将来、そろばん教室を開く事を目標と  
し、学ばせていただいています。そろば  
んは、小学2年～6年、高1の終わりから高  
3までの約7年習っていました。取得段位  
は、全国珠算教育連盟4段です。高校卒  
業後上京し、昨年末まで関東に住んで  
いました。上京した頃は、自分がそろばん  
の道に進もうとは、夢にも思っていま  
せんでした。

そろばんの道に進もうと思ったきっかけ  
は、嘱託職員で働いていた時の「事業縮  
小に伴う解雇」でした。これまで、正社員  
→派遣社員→嘱託職員→臨時職員の事  
務職を経験させていただき、嘱託職員  
の話をいただいた時の条件が、「何年か働  
き正社員に」という条件での採用だっ  
たので、ここで定年まで働かせていただ  
こうと思っていました。しかし平成22年9  
月末付で解雇。私が41歳になる年の出来  
事でした。

退職後どうしたいかと考えた時、一番  
したい事は旅でした。ここで「そろばん  
の先生になる為の勉強」と言えていれ  
ばカッコイイのですが、全く考えていま  
せんでした。翌月から国内外を何力所か旅  
していく中で、やっと自分と向き合え  
るようになり、「私はこれからどう生きて  
行きたいのだろう？」「私に何が出来る？」  
「今まで頑張ってきた事は？」「楽しか  
った事は？」と自分に問いかける内に、そ  
ういえばそろばんを頑張っていたなあ、1  
0級から始まり、毎日練習していくうち  
に指も動くようになり、級も上がり大会  
に出られる様になり、競う事での悔しい  
思い、嬉しい思い、楽しい思い、毎日  
の練習の中では、楽しいだけではなく、嫌  
になり投げ出したくなったり、でもやり  
通した

時の充実感だったり。そろばんを勉強する中で、いろんな思いを経験させていただいたなあ、こういう経験こそが大切なのではないかと思え、これを次の世代に繋げていきたい、沢山の人にそろばんを好きになって欲しい、その為に私に出来る事と考えた時、そろばんの先生になり伝えて行く事だと思いました。自分で経験し、心からそろばんを大切に感じられたからこそ出せた答えだと思っています。

とはいうものの、指導経験はないので、インターネットで検索し、ある会社の『通信制珠算教師資格取得講座』というパソコンで学べる講座に申し込みました。半年コースで、レポート等提出、最後に2日間のスクーリング(直接そろばん教室に行き教える)で終了というものだった気がします。この勉強を始めたのが、解雇から9か月後の平成23年6月でした。

失業給付も7月で終わり、勉強を続けていく為には、収入が必要です。働きながら勉強が出来る環境という条件で事務の仕事を探し、8月半ばから臨時職員として働かせていただく事になりました。働き始めてすぐ、友人から一通の郵便が届きました。そこには、職場で記事を見つけたので参考までにという手紙と共に、『花まる先生公開授業』という金本先生の授業を紹介した新聞記事のコピーが丁寧に三つ折りに折られ入っていました。これが星の郷総合教室、金本先生との出会いでした。記事を読ませていただき、生徒が多数いる中で、一人一人の特性を把握し、それぞれに合わせた指導をする。それは一人一人をしっかり見ていなければ出来ない事で、指導法も

何十通りも考えなければ出来ない事です。この記事の中には、生徒の為には、時間や手間を惜しまない、生徒の為の教室があり、生徒の為の先生がいました。

そろばんの先生になりたいと目標を決めてから、どういう先生になりたい、どういう教室にしたいと漠然としたものはありましたが上手く言葉で表現できませんでした。記事を読ませていただき、星の郷総合教室の金本先生の様な先生になりたいと心から思いました。その日から、記事を部屋の壁に貼らせていただき、ホームページもみさせていただき、いつか先生にお会いしたい、教室を見学させていただきたいと思っていました。

(以下次号へ)

※文中の『花まる先生公開授業』は、当教室のホームページからリンクをたどるとご覧いただけます。変な大阪弁が頻出する記事ですが、東京の記者さんにはそう聞こえていたようです。

記事中の「あっ、そうか体験」は、今から30年ほど前、大学の「教育原理」という教科の授業で聞いた言葉です。本当の意味は何だったか定かではありませんが、講義を聴いている間、それまでの様々な自分の体験や経験を次々と思い出しては、一つひとつに「あっ、そうか」という意味づけをしていたことをおぼえています。

「あっ、そうか」「なんだ、そうだったのか」「やはり、そうだった」・・・生徒の皆さんにこんな経験をいくつも重ねて欲しいと願っています。そのためにも、何を教え、何を教えず、教えるにしてもどこまで指し示すべきか。指導の楽しさと難しさはすべてこの一点に起因します。